

5G をテーマにしたオープンラボ



5G X(クロス)LAB OSAKAは、ソフト産業プラザTEQSに開設した、5Gを活用する製品・サービスの開発を支援するためのオープンラボです。5G環境での開発・検証と5G活用事例のデモを体験できるほか、ビジネスサポートも実施しています。私たちがめざしているのは、5G X LAB OSAKAを舞台に、人がつながり、テクノロジーがつながることで生まれる新しいビジネスの共創です。

展示・体験ルーム



展示・体験ルームでは、約60分のデモを体験することができます。約240㎡の空間に、5Gを用いる製品・サービスが揃っています。さあ、未来を体験することで、新しいビジネスのヒントを得てください。



検証ラボ



試験用5G(SA / NSA)基地局を用い確実に5Gが繋がる環境を実現。専有のスペースで5Gの特長を活かしたアプリケーション(コンテンツ)の動作検証が可能です。また、技術相談や開発支援も提供しています。

【実施可能な検証例】

- お客様クラウド上のコンテンツを5Gを用いて動作検証
- 技術基準適合認定を受けていない通信モジュールの接続検証
- ロボット等の遠隔操作検証 など

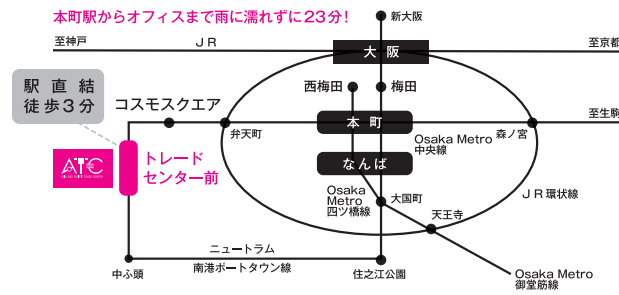


- 名称：5G X LAB OSAKA (5G・クロス・ラボ・オオサカ)
- 運営主体：大阪市、ソフトバンク(株)、(一社)i-RooBO Network Forum、(公財)大阪産業局
- 設置場所：アジア太平洋トレードセンター ITM 棟6階
ソフト産業プラザ TEQS 内
- 利用方法：公式ホームページから予約(完全予約制) >>> <https://teqs.jp/5gxlabs>
- 対象：5G活用製品・サービスの開発をめざす事業者及び5G活用製品・サービスの導入を検討している事業者

体験予約受付中!

ソフト産業プラザ TEQS
〒559-0034 大阪市住之江区南港北 2-1-10
アジア太平洋トレードセンター ITM 棟 6 階
TEL:06-6615-1000 / FAX:06-6613-2232
mail: info@teqs.jp
<https://teqs.jp>

facebook.com/teqsosaka
@teqs_osaka



電車 (Osaka Metro) をご利用の場合
梅田・本町・なんば方面からは、Osaka Metro 中央線「本町駅」から「コスモスクエア駅」でニュートラムに乗り換え、「トレードセンター前駅」下車 (本町駅から約23分)。改札から ATC ITM 棟 2階まで直結、徒歩3分。

車をご利用の場合
阪神高速湾岸線 神戸・大阪市内方面からは「南港北出口」、堺方面からは「南港南出口」より約5分。一般道の場合は、中央大通から大阪港咲洲トンネルを通ってお越しください。
※ 駐車場: ITM 棟にある「第1駐車場 (有料)」をご利用ください。

リムジンバスをご利用の場合
関西国際空港と直結。グランドプリンスホテル大阪ベイ、ロビー玄関前が発着場です。

5G 導入トライアル補助金 活用事例集



5G TRIAL

5G 新サービスで生産性向上や効率化を実現！

DX やスマート化などを実現する

製品・サービスの導入費用を補助します。

5G 通信を活かした新サービスを活用すると、これまで不可能だったことが可能になり、やり方を大幅に効率化、簡略化し、コスト削減や労働時間の短縮、業務の効率化につながります。5G 導入トライアル補助金では、それらを実現する新製品やサービスを導入する費用の一部を補助することで生産性の向上や新たな価値を生み出す取り組みをサポートします。

応募要項

● 補助限度額
上限 **300万円** (補助率：2分の1)

● 採択予定件数
7件程度

● 補助対象事業
以下の要件のいずれにも該当する方。
① 5Gを活用した新しい製品やサービスを導入することで業務の効率化やスマート化の推進、生産性の向上等が見込まれる事業。
② 期間内に機器の設置や調整、サービスを利用するための環境整備等を完了する事業。または、その試験運用を開始する事業。
③ 国等の他の補助金の交付決定を受けていないこと。

● 補助対象経費
機器購入費、リース費、設置・調整費、サービス等の使用料等。

● 補助対象者
申請時において実質的に事業を行っている事業所が大阪市にある中小企業者等。

● 導入場所
導入(利用)する場所や地域に関する条件はありません。

Schedule

応募締切(一次): **5月31日** まで
上記期間内であっても、予算の上限に達し次第終了します。

審査: 随時、書類審査およびヒアリング等を実施

審査結果通知: 各募集期間終了後、約2週間以内に通知

審査: 随時、書類審査およびヒアリング等を実施

補助対象事業の開始: 交付決定日の翌日

補助対象期間の終了: 令和6年1月末日

実績報告書の提出: 2月10日必着

確定検査: 2月中旬

補助金の支払い: **3月末日**

導入可能なサービス例



工場などの制御機器データの見える化サービス

導入分野: 製造業

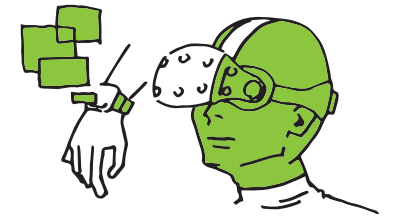
ネットワークに接続されておらず、データの出力が困難な設備に対してデータ収集・連携を可能にし、DXを進めるサービス。



ウェアラブルカメラによる遠隔支援サービス

導入分野: 製造業、建築業、医療・介護、警備

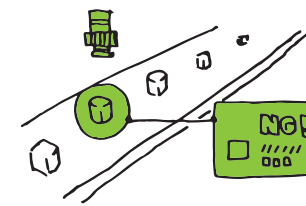
遠隔地間で映像と双方向音声共有できるシステム。事務所から現場への遠隔支援や作業指示に活用可能。視覚情報の共有による円滑なコミュニケーションにも効果を発揮します。



AIカメラによる属性分析(人数、年齢、性別など)

導入分野: 広告、マーケティング

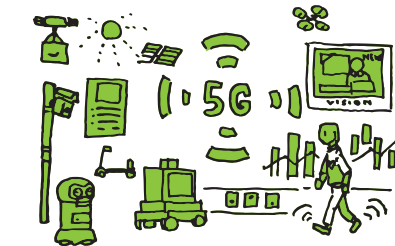
撮影画像をAIで処理することで対象エリアにいる人の属性を分析。デジタルサイネージと組み合わせることで効果的な広告表示を実現します。



AIカメラによる製品の外観検査

導入分野: 製造業

製造ラインの検査工程にカメラを設置することでAIがキズや欠け、変形などを自動的に検知します。



ローカル5Gを活用したソリューション

導入分野: 全業種

ローカル5Gによって自社専用の5G環境を柔軟に構築・運用することができ、様々なソリューションを活用することが可能になります。

ITベンダー・商社の方へ

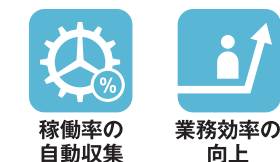
不良品の自動検出と遠隔監視

射出成型時の成形不良を高精細カメラで自動検出し、5G回線を通じて検知情報を管理者へリアルタイムに送信システムを構築。これにより、常時監視を行う人員の削減と、不具合発生時の迅速な対応が可能となり、生産性向上につながりました。



設備の稼働状況をリアルタイムで把握

加工設備に設置したカメラで設備の稼働状況や稼働率を自動収集。5Gを活用することで収集項目や頻度の拡張が可能になり、より実効性のある情報収集が実現し、適切な生産管理体制を構築できました。



ウェアラブルカメラで現場と的確なやり取り

現場の作業員が装着したウェアラブルカメラから5G回線を通じて配信される高画質画像を共有することで遠隔地からの的確な指示が可能に。



「これ、導入可能かな？」と迷われたら、まずはお問い合わせください。